国際秩序の動揺と 米国のグローバル・ リーダーシップの行方

日本国際問題研究所編

はしがき

本報告書は、当研究所が令和2~4年度外務省外交・安全保障調査研究事業(発展型総合事業)「国際秩序の転換期における日本の秩序形成戦略-台頭する中国と日米欧の新たな協調」のサブ・プロジェクトの一つとして実施してきた研究プロジェクト「国際秩序の動揺と米国のグローバル・リーダーシップの行方」における3年目の成果をとりまとめたものです。

米国と中国との戦略的競争は多方面にわたり、一層激化しています。また、ロシアによるウクライナ侵略が米国の外交や内政に影響を及ぼす状況も続いています。そうした中、米国の国内における政治的分断は進む一方の様相を呈しています。

このような厳しい内外の情勢にバイデン政権はどのように対応しているのか、本プロジェクトは、バイデン政権における米国の外交と内政をめぐる諸問題について分析し、現況を的確に把握することに努めた研究成果です。

なお、ここに表明されている見解は、すべて個人のものであり、当研究所の意見を 代表するものではありません。本報告書がわが国の外交政策に寄与することを心より 期待します。本報告書に対する忌憚なきご意見、ご批判をいただければ幸いです。

このサブ・プロジェクトの主査を務めていただいた慶應義塾大学の中山俊宏教授が、令和4年5月1日に急逝されました。ここに改めて追悼の意を表します。また、令和4年5月から本サブ・プロジェクトの主査をお引き受けいただいた久保文明防衛大学校長をはじめ、本研究に積極的に取り組まれ、報告書の作成に尽力いただいた執筆者各位、ならびにその過程でご協力いただいた関係各位に対し改めて深甚なる謝意を表します。

令和5年3月

公益財団法人 日本国際問題研究所 理事長 佐々江 賢一郎

目 次

第1章	バイデン政権における外交と内政のつながり
第2章	2022 年中間選挙における極端派の動向
第3章	バイデン大統領と連邦学生ローン返済免除 プログラム:梅川 健19 大統領は「決められない政治」を打開できるか はじめに19 1. バイデン大統領による政策形成:連邦学生ローン返済免除21 2. 大統領による政策形成を阻む訴訟23 おわりに25
第4章	アメリカの対外認識 森 聡 29

第5章	ウクライナ支援に対する日本の有権者の支持 飯田 健 43 はじめに 43 1. 性別、年齢、支持政党とウクライナ支援に対する支持 44 2. 「同盟のジレンマ」、民主主義への支持、ロシアに対する脅威認識 47 3. 分析 48 まとめ 52
第6章	アメリカにおける分極化と同盟国からの信頼小濱 祥子57 はじめに57 1. 分極化の二つの諸相:対外政策の観点から58 2. サーベイ実験の手法59 3. 分極化と同盟国からの信頼60 おわりに61
第7章	国際関係に関与する州と地方政府
第8章	民主主義への攻撃としての国際的デジタル介入渡辺 将人73

第9章	アメリカの台湾政策 (2022)佐橋	亮95
	1. 全般的な関係強化96	
	2. 台湾海峡「危機」98	
	3. バイデン政権の台湾姿勢の本質100	
	おわりに102	
第 10 章	2024 年に向けての米国政治の動向と日米関係 久保	文明107
	はじめに107	
	1. バイデン政権の対中国・ロシア政策108	
	2. 2022 年中間選挙の含意109	
	3. 2024 年大統領選挙との関連で112	
	4. 2024 年に向けての日本の選択114	
	おわりに116	